

Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

～新生活のギフトにおすすめ～

藍染のレザーアイテム <AWA AI>

株式会社絹や（徳島県）

藍の本場、徳島で生まれた美しいレザーアイテム

阿波藍の産地で知られる徳島県。

大正元年創業の老舗の呉服店である絹やが、天然藍100%で染めた革小物の製造を手掛けています。

伝統的な灰汁発酵建ての藍染は難しく、職人の高度な技術が必要とされます。職人の手で丹念に染め重ねられた深みのある美しい色合いは、JAPAN BLUEと呼ばれ世界中で支持されています。使うほどに光沢が増し、豊かな風合いを醸し出します。

【SHIBORI シリーズ】（いずれも税別価格）

長財布…¥50,000 / 名刺入れ…¥15,000 / 単カードケース…¥12,000
コインケース…¥10,000 / ペンケース…¥10,000



monova gallery 展示会&イベント案内

<現在開催中の展示会> 桐生・テキスタイルの魅力～kiryucushion～展



開催中～2月26日(火)

桐生・テキスタイルの魅力 ～kiryucushion～展

繊維産業が盛んな群馬県・桐生市から発信
テキスタイルの可能性を拓く kiryucushion プロジェクト



2月28日(木)～3月26日(火)

日々是自由な小空間 展

埼玉県飯能市の木製建具メーカーが提案する
ひとつぼ空間の新しい使い道をご紹介します。



<お問合せ> Japan creation space monova 担当: 藤本

tel: 03-6279-0688 mail: info@monova-web.jp WEB: <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。

ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

2019年2月22日（猫の日）に全国発売開始！

お部屋のニオイを脱臭する炭入り猫「チャコキヤット」

天然脱臭材「チャコキヤット」を2月22日の猫の日に新発売！！

セラミック炭の入った猫が、湿気やニオイを大幅キヤット！（カット）。

靴の中や下駄箱、玄関、車、押入れで大活躍します。

中身は静岡県産のヒノキ・杉の間伐材を天然粘土でコーティングした後に炭化するセラミック炭を使用。

デザインはマグデザインラボの花澤氏によるものです。

お部屋に自然に溶け込む、シュールな顔つきの猫をイラスト化。ニオイに応じてチャコキヤットの多頭飼いいもおすすめです。



【チャコキヤット】

【カラー】・・・グレー、ブラウン

【価格】・・・1匹/1,280円（税別）

【サイズ】・・・縦約15cm セラミック炭250ml入り

【デザイン】・・・マグデザインラボ.代表 花澤啓太氏

セラミック炭とは・・・

静岡県産の杉・ヒノキの間伐材を原料に、特殊セラミックス(天然粘土)をコーティングし、自社開発の炭化装置で高温で焼成しています。

2009年には静岡県工業技術研究所との共同研究により「イヤなニオイを脱臭して、木やハーブなどの心地いい香りはほとんど脱臭しない炭」として特許を取得。(特許4231900号)

2018年11月には静岡県科学技術振興功労表彰式にて「優秀発明考案者」を受賞した素材です。



【株式会社アスカム】

静岡県榛原郡にて創業80年の木材機械加工メーカーである横山鐵工株式会社と共に、2000年から静岡県産の間伐材の有効利用と森林保護育成を目指してセラミック炭の製造・商品化をしています。間伐材から作られるセラミック炭の機能を活かし、自然素材の機能を活かしたオリジナル商品の開発を行い、人と森に役立つライフスタイルを提案しています。 <http://www.ascam.net>

Kinokoto®

「kinokoto」は、日本の木(ki)を守り、ヒトの気(ki)持ちと自然素材が持つ機能(kinou)を大切に、環境のバランスを考え、機能と感性を備えたロングライフスタイルを提唱するアスカムのオリジナルブランドです。

<お問合せ> Japan creation space monova 担当: 藤本
tel: 03-6279-0688 mail: info@monova-web.jp WEB: <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

monova主催

「桐生・テキスタイルの魅力 ～kiryucushion～展」 を開催！

2019年2月14日（木）～2019年2月26日（火）

繊維産業が盛んな群馬県・桐生市から発信
テキスタイルの可能性を拓くkiryucushionプロジェクト

R

kiryu cushion



コンシューマー向け初の展示会 テキスタイルの可能性を拓く kiryucushionプロジェクト

群馬県桐生市は日本有数の歴史をもつ絹織物の産地です。現在は織り、編み、刺繍など布に関するものづくりが盛んな地域になっています。

古くから絹織物の産地として名高い桐生市で、長年にわたって繊維関連のものづくりに関わる企業（笠盛、松井ニット技研、丸中、Canet）が集い、デザイナー藤原大とともに新しいものづくりのプロジェクトをスタートしたのが2017年。街の名前にちなみ、「桐から生まれたクッション」をイメージした製品が生まれました。桐の葉はクッションのように大きく、花は美しく、木の肌は柔らかくて軽く、色や木目も品があり日本の激しい気候変化や風土にもよく馴染むもので、日本の心を表す素材です。色や素材感のあるプロダクトと空気を通じて、世界中に愛されるブランドを目指しています。

今回の展示は、コンシューマー向けとしては初のお披露目展示会となります。クッションを中心に昨秋に発表したバッグ類もご覧いただけますので、是非ご来場のほどよろしくお願いたします。

【藤原 大 / Fujiwara Dai】

DAIFUJIWARA DESIGN INC. を主宰し、これまで多くのクライアントと社会性の高いデザイン活動を行なっている。Future Center Japan Meister、多摩美術大学教授、金沢美術工芸大学名誉客員教授、他。MoMA(ニューヨーク近代美術館)パーマネント・コレクション、毎日デザイン賞、クッドデザイン大賞最高賞など。海外・国内での講演会多数。

－開催概要－ 桐生・テキスタイルの魅力 ～kiryucushion～展

会 期：2019年2月14日（木）～2019年2月26日（火）

※2月17日（日）、2月20日（水）は休館日

10:30 - 19:00 / 最終日は17:00迄 入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：monova

<お問合せ> Japan creation space monova 担当：藤本

tel：03-6279-0688(10:30-19:00 水曜定休) / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

株式会社サカモト主催
「日々是自由な小空間展」を開催！

2019年2月28日（木）～2019年3月26日（火）

埼玉県飯能市の木製建具メーカーが提案する
ひとつぼ空間の新しい使い道をご紹介します。



ひとつぼ茶室



初期作ひとつぼキャビン



サカモト本社ギャラリーシヨールーム「knock knock」

建具メーカーの新たなチャレンジ
ひとつぼの新しい空間体験

森林文化都市・埼玉県飯能市にある、木製建具メーカー株式会社サカモトが発売した「ひとつぼキャビンシリーズ」は、三角屋根が特徴の一坪（約3㎡）という小サイズで木の温もりを感じる空間提供製品です。

建具の新しいかたちを探求するという試みから始まった「ひとつぼキャビンシリーズ」。「ひとつぼキャビン」（デザイン・三輪アトリエ級建築士事務所）は2013年に発表した初期作です。JIDアワード2015 部門賞を受賞した後、「西川材（杉・ひのき）」を使用したひとつぼキャビン事業（地域産業資源活用事業2016）」として、経産省、農水省認定を受けています。

2017年には、「ひとつぼ屋台」「ひとつぼ茶室」（デザイン・三輪アトリエ級建築士事務所、監修・京都大学大学院准教授田路貴浩）として発売しました。

「ひとつぼ茶室」はクールジャパンアワード2017を受賞し、昨年は「ひとつぼキャビンシリーズ」として、ウッドデザイン賞2018を受賞しました。

このたび受賞を記念し、monovaギャラリーにて「ひとつぼ茶室」の展示が決定しました。展示期間中は、「ひとつぼキャビンシリーズの魅力的な使い道」を募集し、選出された方へモニター提供します。ぜひ、「ひとつぼ茶室」をご体感ください。

<森林文化香る飯能市名産の杉・桧、「西川材」>

埼玉県飯能市を中心とする産地で育林している杉・桧を「西川材」と呼びます。その名の由来は、古くは森から伐り出した丸太を筏（いかだ）に組み、江戸へ川を下り運び、江戸のまちで建築資材などに使用したことから、「（江戸からみて）西の川から来る材、西川材」と呼ばれるようになったとされています。

【株式会社サカモト 概要】

株式会社サカモト（1961創業・埼玉県）は、地域資源「西川材（杉・桧）」を使用したドアや壁紙などのオリジナル木製品や、デザイン性の高い木製建具や木製サッシなどのオーダー品を製造しています。伝統の木工技能を有する職人たちと、最新鋭の木工機械を駆使して、「木と人をつなぐ”夢あるもの創り”」を目指しています。

<https://www.eco-sakamoto.co.jp/>

—開催概要— 日々是自由な小空間展

会 期：2019年2月28日（木）～2019年3月26日（火）
10:30 - 19:00 / 最終日は17:00迄 入場無料
会 場：monova gallery
場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：株式会社サカモト × monova

津軽の電気主催
あかり

「津軽の伝統工芸と燈 展」を開催！

2019年4月25日（木）～2019年5月20日（月）

青森県の電気工事が提案する新しい青森の伝統工芸のカタチ。
東京初お披露目となる「津軽の燈(あかり)LAB」を紹介します。



津軽塗スイッチコンセントプレート



あけび細工のランプシェード



こぎん刺しピアス・イヤリング

津軽の伝統工芸と燈(あかり) 津軽燈 L A B の新提案

「津軽燈(あかり)LAB」は青森県弘前市の電気工事会社である「津軽の電気」が2019年春に立ち上げたばかりの新ブランドです。津軽の伝統的工芸品である、「津軽塗」・「あけび細工」・「こぎん刺し」を現代のインテリアに取り入れ、新たな青森のモノづくりを提案しています。全国展開を目指した第1歩として、今回の展示会ではオリジナル照明器具やアクセサリといった様々なアイテムを展示します。きっと気に入った作品が見つかると思いますので、ぜひご高覧くださいませ。

【展示内容】

津軽塗スイッチコンセントプレート

500枚以上売り上げた、津軽の電気の代表製品。塗の作業は1枚1枚手作業で行っており、48の工程を経て出来上がる津軽塗の柄は、一つとして同じものはありません。玄関やリビングのスイッチコンセントを取り替えることで、簡単にお部屋の雰囲気ガラリと変えることができます。

あけび細工のランプシェード

灯りを灯すと編み目の隙間からもれる光が幻想的な、新感覚のランプシェードです。

こぎん刺しピアス・イヤリング

津軽地方に300年前から伝わる伝統的な刺繍「こぎん刺し」をアクセサリに仕上げました。津軽の名産であるリンゴに見立てた巻き玉がアクセントになっています。

※会期中はこぎん刺しのワークショップも開催予定です。

詳細は後日、monovaのHPにてお知らせします。

【津軽燈(あかり)LAB 概要】

弘前の電気工事会社「津軽の電気」の新ブランド。今までなかった青森の伝統工芸の照明器具や小物を提案、販売、施工。青森だけにこだわらず、全国展開、世界進出を目指し、モノづくりの提案を行う。※2019年4月1日、HP公開予定。

—開催概要— 津軽の伝統工芸と燈 展

会 期：2019年4月25日(木)～2019年5月20日(月)

10:30～19:00 / 最終日は17:00迄 水曜定休、5/21(火)は臨時休館
入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：津軽の電気